

1. 3 建設汚泥の処理方法と利用用途

建設汚泥の処理は、利用用途に応じて様々な方法がある。

処理土は、適用用途標準により、適用用途に応じた品質区分を決定し、処理を行う。

【解説】

1) 建設汚泥の処理方法と利用用途

建設汚泥処理土の利用に当たっては、建設汚泥の性状、発生量、利用目的等に応じて、適切な処理方法を選定する。なお、利用用途例を表1-3-1に示す。

表1-3-1 主な処理方法と利用用途例*1

処理方法	形状	主な用途
高度脱水処理 (脱水処理含む)	脱水ケーキ	盛土材、埋戻し材
安定処理	改良土	盛土材、埋戻し材
乾燥処理	土～粉体	盛土材
スラリー化安定処理	スラリー状→固化	盛土材、充填材
焼成処理	粒状	盛土材、埋戻し材
高度安定処理*2	粒状、塊状	盛土材、埋戻し材

*1) 建設汚泥の処理に当たっては、廃棄物処理法等に基づき、適切に処理を行わなければならない。

*2) 安定処理とプレスの併用、オートクレーブ養生等による強度強化やセメント量の増加により可能

2) 処理土の適用用途標準

処理土の利用用途は、土質区分に基づき、表1-3-2に示す建設汚泥処理上の適用用途標準を目安とする。現状の処理土の土質区分基準では、利用用途に対して○および△に該当する場合は、高度脱水処理、乾燥処理や安定処理等の土質改良を行うことにより◎に該当するものとして利用する。

なお、本適用用途標準はあくまで目安であり、実際の施工に当たっては個々の利用用途によって詳細に規定されている品質および施工管理に関する基準に従い利用するものとする。

表1-3-2 建設汚泥処理土の適用用途標準

適用用途 区分	工作物の埋戻し		建築物の埋戻し※1		土木構造物の裏込め		道路用盛土 路床		河川築堤 高規格堤防		一般堤防		宅地造成 公園・緑地造成		鉄道盛土		空港盛土		水面埋立て※2			
	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項	評価	留意事項		
第1種処理土 (焼成処理・高度安定処理)	◎	最大粒径注意	◎	最大粒径注意	◎	最大粒径注意	◎	最大粒径注意	◎	最大粒径注意 最大粒径注 際混入率注 透水性注 表層利用注	○		◎	表層利用 注意	◎	最大粒径注意	◎	最大粒径注意	◎	淡水域利用注意		
	◎	細粒分含有率注意	◎	細粒分含有率注意	◎	細粒分含有率注意	◎	最大粒径注意	◎	最大粒径注意	◎	粒度分布注	◎	表層利用 注意	◎		◎		◎	粒度分布注意	◎	淡水域利用注意
第2種処理土	◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎	
	○		◎		○		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎	
第3種処理土	○		◎		○		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎	
	○		◎		○		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎		◎	
第4種処理土	△		○		△		△		○		○		○		○		○		○		○	
	△		○		△		△		○		○		○		○		○		○		○	

本表に例示のない適用用途に建設汚泥処理土を使用する場合は、本表に例示された適用用途の中で類似するものを準用する。

※1 建築物の埋戻し：一定の強度が必要な埋戻しの場合は、工作物の埋戻しを準用する。

※2 水面埋立て：水面上へ土砂等が出た後については、利用目的別の留意点（地盤改良、締固め等）を別途考慮するものとする。

注：処理土：建設汚泥を処理したもの。 改良土：処理土のうち、安定処理を行ったもの。

凡例：【評価】

◎：そのまま利用が可能なもの。留意事項に使用時の注意を示した。

○：適切な処理方法（含水比低下、粒度調整、機能付加、安定処理等）を行えば使用可能なもの。

△：評価が○のものと同様で、土質改良に必要なもの。

土質改良の定義

含水比低下：水切り、天日乾燥等を用いて含水比の低下を図ることにより利用可能となるもの。

粒度調整：利用場所や目的によっては粗粒分の付加やふるい選別を行うことで利用可能となるもの。

機能付加：固化材、水や軽量材・補助工法等を混合や敷散することにより処理土に流動性、軽量性、耐久性などの付加価値をつけることにより利用可能となるもの。

安定処理等：セメントや石灰による化学的安定処理や高分子系や無機材料による土中水分の固定を主目的とした改良材による土質改良を行うことにより利用可能となるもの。

留意事項

最大粒径注意：利用用途先の材料の最大粒径、または1層の仕上がり厚さが規定されているもの。

細粒分含有率注意：利用用途先の材料の細粒分含有率が規定されているもの。

際混入率注意：利用用途先の材料の透水性が規定されているもの。

透水性注意：浸透圧や土粒子の流出などの点で問題がある部位への利用は適さないもの。

表層利用注意：表面への露出などで植生や築造等に影響を及ぼすおそれがあるもの。

施工機械の選定注意：過転圧などでの問題があるため、締固め等の施工機械の稼働に注意を要するもの。

淡水域利用注意：淡水域に利用する場合、水域のpHが上昇する可能性があるため、注意を要するもの。

利用用途別の留意事項：利用用途別の留意事項は、利用用途別の留意点（地盤改良、締固め等）を別途考慮するものとする。

利用用途別の留意事項：利用用途別の留意事項は、利用用途別の留意点（地盤改良、締固め等）を別途考慮するものとする。

利用用途別の留意事項：利用用途別の留意事項は、利用用途別の留意点（地盤改良、締固め等）を別途考慮するものとする。

利用用途別の留意事項：利用用途別の留意事項は、利用用途別の留意点（地盤改良、締固め等）を別途考慮するものとする。

利用用途別の留意事項：利用用途別の留意事項は、利用用途別の留意点（地盤改良、締固め等）を別途考慮するものとする。